

長年の手湿疹と強いリバウンドを経て普通の生活を取り戻した成人アトピーの経過 (54 歳女性)

症例 ID：001-50-IK | 記録日：2015 年 7 月 10 日

1. 診断・治療前経過

長年、手荒れと手湿疹に悩まされ、複数の皮膚科で主婦湿疹とされ、ステロイドが処方されていました。塗っても効きにくくなり、塗らないと湿疹が出る状態になりました。

皮膚は薄くなり、すぐにひび割れて出血するようになり、日常生活に大きな不便がありました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	長年、手湿疹に対してステロイド外用薬を使用していました。使用量は増えていきました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	長期にわたる使用歴があります。
中止時期	松本医院受診後、痒み止めや市販薬を含めて中止し、漢方治療へ移行しました。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
来院前	来院前	手荒れと手湿疹に対して長くステロイドを使用し、効きにくくなっていました。
治療開始直後	治療開始	痒み止めや市販薬をやめ、漢方の煎じ薬を開始しました。
治療開始 1 か月	リバウンド期	手のひらと手の甲の湿疹が肘まで上がり、首にも広がりました。リンパ液、腫れ、強い痒みで眠れない状態でした。
1 か月過ぎ	回復傾向	腫れが徐々に引き、症状が少し楽になりました。
半年頃	経過中	ヒリヒリ感が自然になりました。
9 か月頃	経過後	日中の痒みはほとんどなくなり、冬の指先のひび割れもなくなりました。
2 年後	経過後	手はきれいな状態となり、夜間の痒みで眠れないこともなくなりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始 1 か月頃に手から肘まで腫れ、首にも広がり、リンパ液と強い痒みで眠れなかった時期です。

5. 困りごと

- 手のひび割れと出血により、日常生活に大きな不便がありました。
- 治療開始後はリンパ液、腫れ、強いかゆみで睡眠が妨げられました。
- 遠方からの治療で電話相談を利用しながら経過をみる必要がありました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。



症状が強かった時期の手の状態の記録。



現在の手の状態の記録。

7. 経過のまとめ

長年の手湿疹とステロイド使用の後、治療開始直後から手、肘、首に強いリバウンド症状が出ました。1 か月を過ぎる頃から腫れが引き、半年頃にはヒリヒリ感もなくなりました。

2 年後には手はきれいな状態となり、夜間のかゆみで眠れないこともなくなり、普通の生活を取り戻しました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。